

〔発行〕ゆたかクラブ豊橋(豊橋市老人クラブ連合会)

〔印刷〕株式会社ニチコミ 静岡市駿河区南町 10-6 村上駅南ビル 7 階 TEL 054-283-5424 <https://www.nichicomi.com>

さらなる活動の 推進を目指して

4月17日(木)、豊橋市公会堂にて令和7年度豊橋市老人クラブ連合会(ゆたかクラブ豊橋)総会を開催しました。

はじめに今川会長および長坂市長があいさつを述べ、続いて顕彰へと移りました。今年度は市長感謝状9名、市老連会長感謝状31名ならびに1クラブが受賞。壇上で賞状が授与されると、会場からは大きな拍手が送られました。次に今川会長が議長に就き、議事に入りました。令和6年度の事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算などが報告され、全ての議案が承認されました。

審議終了後、「ほの国体操リーダー」によるフレイル予防のための体操を実施。活気に満ちた体操の後、総会は滞りなく閉会しました。



会長あいさつ



市長あいさつ

令和7年度重点目標

1. 健康長寿を目指す生きがいづくり、フレイル予防・認知症予防活動の充実
いつまでも健康で生きがいを持って暮らし続けられるよう、楽しい趣味の活動やスポーツ活動を可能な範囲で行おう。バランスの良い食事を心がけ、健康でいきいきとした生活を目指そう。
2. 支え合い活動の推進
孤立しがちな地域住民に目を向け、支え合いの精神で声をかけ合おう。地域の困りごとを「自分ごと」ととらえ、一人ひとりが地域の支え手として「お互いさまのまち」づくりを進めよう。
3. 活動の周知と組織への理解促進
広報紙の配付など、情報発信を積極的に行い、地域の方々に老人クラブ活動の楽しさや必要性を知ってもらおう。サロン活動やスポーツ活動など、様々な活動へ気軽に参加してもらい、活動を共にする仲間の輪を広げよう。
4. 持続可能なクラブづくりの推進
会長や役員の役割をわかりやすく伝え、特定の人に負担がかからないように協力し合おう。会員の役割や活動内容をわかりやすく伝え、新たな会員が安心して入会できる、持続可能なクラブづくりを進めよう。



ほの国体操リーダーによる体操



市老連会長感謝状授与

令和7年度 豊橋市老人クラブ連合会総会

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

会長ごあいさつ

共に歩む

ゆたかクラブ豊橋

この度、任期満了に伴う役員改選により、引き続き会長を務めさせていただきます今川でございます。日頃よりゆたかクラブ豊橋の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、ゆたかクラブ豊橋では、健康で充実した毎日が送れる場として、スポーツ大会や趣味の発表会、地域交流活動をはじめとして、多岐にわたる事業に取り組んでおります。これらは、高齢者が地域の一員として社会

ゆたかクラブ豊橋 豊橋市老人クラブ連合会

会長 今川 智嗣

とつながり、自分らしい人生を楽しむ場として大きな意義を持つていてと考えています。高齢化が急速に進む現代では、一人暮らしの高齢者の孤立や健康問題、フレイル予防などの課題を抱えています。

ゆたかクラブ豊橋ではこうした問題を解決する一助となるべく、高齢者の孤立防止を目的とした「一声運動・友愛訪問」を行い、また新しい趣味や友人を見つける場としてゆたかクラブ豊橋所属の高齢者が主体となって

「趣味の教室」を開催するなど、高齢者の積極的な社会参加を促進しています。

皆さまが新たなことに挑戦し、生き生きと自分らしさを表現する場として、ゆたかクラブ豊橋を存分に活用していただきたいと思います。歩みに少しでもお力添えできれば幸いです。

最後に、改めて会員の皆さまには引き続きご理解とご協力をお願いするとともに、無事息災を祈念しまして、あいさつとさせていただきます。



令和7年度 新役員の紹介です



副会長
高井 宏昌



会長
今川 智嗣



副会長
丸地 洸



副会長
朝倉 規幸



監事
神田 昭造



会計
鈴木喜久男



総務部長
小林 生人



監事
黒柳 英司



社会部長
二橋 明子



広報文化部長
小嶋 義雄



レクリエーション部長
久保田 正



保健体育部長
森 義和

令和7年度 豊橋市老人クラブ連合会事業計画

月	日	曜日	行 事 名	場 所
4	17	木	令和7年度総会	豊橋市公会堂
5月～12月			シルバースポーツブロック大会	市内一円
6	6	金	第93回豊橋市囲碁・将棋大会	高師老人福祉センター
	19	木	理事研修視察	碧南市
8	上旬		広報紙「吉田春秋」8月号発行	
	20	水	女性部研修会	豊橋市役所東85会議室
9	15～21	月～日	第1回友愛訪問	各校区指定場所
			一声運動強化週間(前期)	市内一円
	9月～11月		市老連ブロック別演芸大会	各センター
10	2	木	第49回ゲートボール大会・第27回ベタンク大会(雨天予備日:翌日)	東田球場
	24	金	第20回とよはしシニアフェスティバル(第48回趣味の演芸大会)	豊橋市公会堂
11	6	木	第13回ゴルフ大会	新城カントリー倶楽部
	13	木	第27回グラウンド・ゴルフ大会(雨天予備日:翌日)	石巻運動広場
	27	木	第62回豊橋市高齢者福祉大会	豊橋市公会堂
12	12	金	交通安全街頭啓発	市内一円
	17	水	第13回ボウリング大会	岩屋キャノンボウル
2	上旬		広報紙「吉田春秋」2月号発行	
	5～11	木～水	第2回友愛訪問	各校区指定場所
			一声運動強化週間(後期)	市内一円
	12～13	木～金	単位老人クラブ会長・女性部長研修旅行	未定
2月～3月			趣味の教室作品展・発表会	各センター
通年			自転車(交通安全)教室	各ブロック

令和7年度 ゆたかクラブ豊橋 会員構成

ゆたかクラブ豊橋総会員数 9213名 男 4075名 女 5138名
 ゆたかクラブ豊橋理事平均年齢 40名 77.8歳

ブロック	男	女	人 数
仁 連 木	377	609	986
つつじが丘	329	399	728
大 岩	537	681	1218
牟 呂	486	606	1092
高 師	655	737	1392
大 清 水	514	597	1111
下 地	243	315	558
石 巻	462	472	934
八 町	472	722	1194
合 計	4075	5138	9213



交通安全対策推進部長
山本 昌良



生きがい事業推進部長
石川 博美



女性副部長
中野 治美



女性部長
杉浦美智子



大岩ブロック代表
村田 寛



仁連木ブロック代表
石川 秀一



大清水ブロック代表
上妻 貢



牟呂ブロック代表
加藤 雅巳



石巻ブロック代表
戸川 博美



下地ブロック代表
長幡 和博

ゆたかクラブ豊橋を
盛り立ててまいります

よろしく
お願い
いたします



豊橋市福祉部長ごあいさつ

豊橋を元気にする老人クラブ

豊橋市福祉部長

本田 佳之

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）の会員の皆様には、日頃より本市の高齢者福祉施策に深いご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、豊橋市では高齢化率が26・8%となつています。まさに「人生100年時代」が到来している現在は、定年後においても、趣味・学習活動、社会貢献活動、就労など様々な活動にチャレンジする社会となつております。

主に60歳以上の方を対象にスポーツや文化活動に親しむことを目的に開催されている全国健康福祉祭（ねんりんピック）が、昨年度は鳥取県で開催されました。愛知県代表選手団として剣道やeスポーツなど5つの部に豊橋在住の6名の方が出場され、大いに活躍されました。中でも、eスポーツ部門に出場された水上美保さんは、みごと全国優勝を果たされました。水上さんは今回のご活躍をきっかけに、さらにeスポーツを通してシニアの方々と地域をつなぐ活動をしたいと言われています。

シニアの方の活躍は、様々な世代を勇気づけ、社会を明るくします。豊橋市では、すべての高齢者が健康に住み慣れた地域でいきいきと自身が望む暮らしができるよう、みんなで支え合う地域づくりを推進していきますので、皆様は今後も高齢者のモデルとなつていただき、引き続き活躍されることを期待いたします。

結びにあたり、ゆたかクラブ豊橋の今後のますますのご発展と会員の皆様の一層のご活躍を心より祈念申し上げます。



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

第20回 とよはしシニア フェスティバル

第48回 趣味の演芸大会

- 開催日時 10月24日(金)
開場：午前9時
開演：午前9時30分
- 開催会場 豊橋市公会堂

「趣味の教室」の
演芸種目に参加され
ている皆さまが、日
頃の練習の成果を披
露されます。



民謡・舞踊・詩吟・
歌謡曲・童謡唱歌・健康体操・
ダンスなど、ジャンルは多岐に
わたります。元気にご活躍され
ている皆さまにご声援をお願い
します！

※趣味の作品展につきまし
ては、開催会場である文化
会館が改修工事中のため、
今年度は開催いたしません。
ご了承ください。



将棋の部 結果

優 勝	荻野 吉央(写真右)
準優勝	柴田日出夫(写真左)



囲碁の部 実戦クラス結果

優 勝	水野 高晴(写真左下)
準優勝	上村 正雄(写真左上)

囲碁の部 親睦クラス結果

優 勝	吉沢 武久(写真右下)
準優勝	西川 誠(写真右上)

令和7年6月6日(金)、
高師老人福祉センターにて第
93回豊橋市囲碁・将棋大会を

開催しました。32名が参加し、
熱戦を繰り広げました。
結果は左表の通りです。

**第93回豊橋市
囲碁・将棋大会を開催しました！**



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



「水の都大垣」の 芭蕉記念館等を巡る旅 と今後の進め方

第一豊松会

小嶋 義雄

恒例の令和7年度親睦旅行で、新緑4月に「水の都大垣」を旅しました。大垣は俳人松尾芭蕉が漂泊の「奥の細道」を旅して「むすび」の地としたところです。

また、隣接する大垣城は関ヶ原を睨む要害の地にあり、商人と武士が行き交う、まさに歴史のロマンいっぱいこの地です。

また、私達の旅行では「花を鑑賞」することを必須のテーマにしてみました。

今回はなばなの里で「ベゴニア」を鑑賞しました。また、名物の「安永餅」を多くの方が買い求め、家へのお土産とすることができ、楽しい旅となりました。

さて、私達のクラブでも「親睦旅行」については、多様な意見があります。そんな状況下ですが、大清水ゆたかクラブでは、あの厳しい状況のコロナ禍の下でも、親睦旅行を継続実施してきました。

そのためか、バスのガイドさん、運転手さんとも、10年来の知り合いとなることができました。

今回の旅は、新人会員を含めて、多数の会



女性会員の圧倒的パワーを感じます
(芭蕉館にて)

員の方の参加をいただきました。参加者の中で圧倒的多数が女性でした。幹事さんも、その点を配慮してか、バス内でのサービスもビールだけでなく、梅酒やチョコ菓子等を多くサービスしていただきました。

この旅の楽しい雰囲気は、毎月近くの公民館で行う「定例会」では、やはり得がたい雰囲気であると感じたと思います。

これからも、活動の基本は「定例会」ですが、旅行での楽しい雰囲気を生かして、より楽しい「大清水ゆたかクラブ」の活動になるよう願っています。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

芦原
校区

地元の子ども達との 「ふれあい活動」

芦原校区老人クラブ連合会

伊藤 公満

た桜について、の学習。③また、担任の先生が考案の「ロケット」遊びも。

これは、各クラブの役員（会長・女性部長）が総出で2日間かけての指導と完成後の飛行大会実施で盛り上がりました。

児童が夢中になって取り組む姿を目の当たりにして、私達クラブ役員も共に力を合わせて協力する姿を見るにつけ、人生の経験豊富な高齢者と児童との「ふれあい」が学校が進めている「忍耐と活力」「楽しく学び合う芦原っ子」



郷土の歴史を説明する吉原会長

毎年恒例の「三世代交流事業」（さつま芋の植付けから収穫）は「あしはら保育園」の園児とその親とのふれあい活動。

「昔の遊びを楽しむ会」は「芦原小学校」の児童と親を含む若い世代との交流活動。

他にも、学校からの依頼で、①児童と郷土の歴史について、②先輩方が卒業記念で植え



「ロケット」造りの指導・準備中のクラブ役員

で終わるのも嬉しかったです（年上の人から声を掛けられる事を期待したものです。自治会も地域との関わりを企画している様ですが、芦老連も地域の一員として、「子どもの見守り隊」の他にもお役に立てる事が出来ればと思います。その為にも、先ず元気で



「ロケット」完成後、飛行大会に集合の児童と担任とクラブ役員

に少しでもお役に立てるかな、と感じます。

私も、子ども頃、大人と話す事が楽しみで、特にお祭りの日は（学校が半日

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

向山
校区

楽しくいきいきとした 活動をめざして

いきいきクラブ

岩村千鶴子

4月26日、いきいきクラブ総会を神明社で行いました。最近では元気な高齢者も増えていますが、気づかないうちに心身が弱るフレイルに陥る人もいて、そうならないためには自分の状態を知ることが大切です。当日は地域包括支援センターの方の協力を得て、歌やほの国体操、早口ことばの練習をしました。その後、個別に、握力や片足立ち、記憶力テスト、ミニグラウンド・ゴルフなどを行いました。私もトライし、なんとか合格点？を取ることができました。最近、スクワット運動を毎朝続けていることがよかったのかもしれない。

土曜日の朝はグラウンド・ゴルフの日！宮本公園に「おはよう」の声が飛び交います。ゲームがすぐ始められるように、早朝から準備をしてくれる方、整地や夏場の草刈りを率先してやってくれる方々の心配りにいつも感謝です。「ホールインワン」が出ると、歓声が上がります。皆で大盛り上がりです。

また、女性部でもいろいろな活動を行っています。手芸や抹茶会、焼物など町内の方が講師になって教えてくれる楽しい時間です。その計画を立て、準備をし実行するためにも動き回ってこれているのが、会長の奥さんです。細やかな心遣いと笑顔で、周りの人を引き込み、いきいきクラブに欠かせない存在です。また、この町内にはお手本となる高齢の方々が大勢みえます。その方々の背中を追いつながら、元気で楽しくいきいきとした生活が送れたらいいなと願っています。

杉山
校区

連だこ100枚揚げた！ 揚げた！ 天高く揚げた！

杉山校区老人クラブ連合会

中神 達二

1月14日、杉山保育園児20名と杉山七又池グラウンドで恒例のたこ揚げを行いました。

当日は好天に恵まれ、とても良い風が吹いていました。最初は5グループくらいに分かれ、事前に作ってきた星形のたこを持って走り回りをしながらたこ揚げを楽しみました。



100枚の連だこ

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています



みどり会入会者の声

橋良老人クラブ東みどり会

藤井 昌昭

久しぶりに友人とお目にかかったら、「みどり会に入会してください」と言われました。「みどり会って、何をする会だね」と質問したら『橋良町自治会加入家族』で「60歳以上の方」が加入している。正式名称は「橋良老人クラブ東・西みどり会」という組織と言われました。

僕はまだ老人じゃないと皮肉を言い意地悪く、ご託を並べ…わかったふりをし、今の世の中に何となく欠けている、昔よく使われた言葉「向こう三軒両隣」の助け合い、協力の精神から、入会することになりました。

その時の会話を整理してみよう。また、せっかくの紹介ゆえ、役員さんに情報を聞き

その後、たこをつなげていき、つなげるたびに糸を引く力も強まり、園児らが協力し「いち、に、さん、し」と掛け声をあげて力を合わせてタコ糸を引きました。

100枚の連だこを龍のように泳がせることに成功すると、園児達から歓声が上がリ、みんな「ヤッター、ヤッター」と叫びながら笑顔に包まれました。

今年は会員のメンバーがその様子をドローンで撮影してくれ、できた写真を見て改めて感動することができました。

たこを揚げる機会が減ってきている今、寒い中で明るく元気に楽しく揚げる園児の姿を見ていると私たちも元気を貰えるので、これからも続けていきたいと思っています。



PRに一役買うことにしました。

①老人クラブという名称が、入会者の心を傷つける、先人が付けた名称、その時代は人生50年時代、時は80年時代を通り越して、今や100年時代。時代に相応しい名称は体を表す名称をつけたらどうだい（公文書は今のままでよい）。町民に知らしめる名前は、皆が入会したくなる名前、町民から広く募集する。

②みどり会って何をやっている会かな！

会則 第2条「目的」を抜粋するに、仲間づくりを通じて、生きがい健康作り、楽しい活動、地域諸団体との協力、社会活動、長寿社会での保健福祉の向上に努めることを目的として活動していることと思います。

ちなみに豊橋市老人クラブ連合会の愛称は「ゆたかクラブ豊橋」です。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

岩田校区

春は藤の花見も
いいですね！



平岡区老人クラブ若竹会 伊達 朝美

4月15日、

豊岡公園で藤の花観賞会を20名の参加で行いました。4カ月も前に予定を立てたのに、その日はさわやかな晴天になり、藤の花もちょうど満開でとてもきれいで



豊岡公園で藤の花観賞会

した。藤棚の下で、みんなでおしゃべりしながら食べるお弁当はとってもおいしかったです。お茶にお酒、おつまみもあり、あつという間に時間が経ちました。さて、そろそろ福引き大会です。当たった人は、受付で受け取った番号札との交換です。賞品はボックスティッシュやキッチンペーパー、ゴミ袋、お菓子などのちょっとした物です。当たった人は袋をかかずに、大喜びでした。

そして、最後はジャンケン大会をして、残った飲み物をみんなで仲良く分けました。私はノンアルコールをゲットしました。

岩田校区

グラウンド・ゴルフ
クリスマス大会

平岡区老人クラブ若竹会 伊達 勲

若竹会は豊岡公園で毎週木・土・日曜日の朝8時半から9時半頃まで、グラウンド・ゴルフを楽しんでいます。

15、16人の参加で、通常は2ゲームですが、年3回の大会は3ゲームを行います。春のさつき杯、秋は校区体育祭の選考会を兼ねた若竹杯、そしてクリスマス大会です。

さて、12月21日(土)開催のクリスマス大会は19名の申込みがあり、3チームに分かれて行いました。参加賞は300円で、鍋つゆの素や缶詰などの賞品を用意しました。みかんの差し入れもあり、みんな大喜びです。参加賞はお茶1本、ホールインワン賞はボックスティッシュ1箱です。熱戦を繰り広げた結果、今までホールインワンを1本も入れたことのない人がなんと4本も入っての優勝です。みんなびっくりです。でも本人が1番びっくりしていました。大会が終了したら、雨が降り出したので、賞品を抱えて慌てて記念写真を撮りました。



大会の様子

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

運が八分で腕は二分

玉川校区 長楽長寿会 大木 敬一

私は今、GG（グラウンド・ゴルフ）を校区の老人クラブの人達と週3日、楽しんでいます。以前は長年ソフトボールをしていましたが、歳には勝てず、もうチームプレイは無理と潔く区切りにしました。

そしてある日、河川敷を散歩していたら、老人達が、見慣れないスポーツをしていたので、そこに居たお婆さんに尋ねたら「これは、GGといってゲートボールのチームプレイと違って、個人プレイだから、下手くそでも皆に迷惑かけないから面白いヨ」と勧められました。そういえば、昔、ソフトを一緒にしていた先輩が「今はGGが命だよ」と言っていたのを思い出し、GGは個人プレイで自己責任なら気楽でいいなと思い、すぐ、先輩の所属しているGG愛好会に入会しました。

当初、ゴルフは経験があったので簡単に考えていました。だが、いざやってみると思うようにいきません。砂利、小石ありの運動広場でやるので、いくら上手に打つ



GGプレー中の様子

ても、直径36センチのホールポストに思うように入らず、またミスったと思うのが入ってしまう時があります。その時、最年長の長老が笑いながら、「GGは《運が8で腕は2》だよ」と言われ納得しました。そうなんだ、入る入らないは神のみぞ知る。入るのは神様のご褒美なんだと。今では、今日の運だめしと思って楽しんでいます。

最後に一句、
一打を粗末にする者は一打に泣く
勝負は下駄を履くまで解らない。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

長い道程には何かある？

みちのり

飯村校区 シニアクラブ同好会 田中 教雄

歴史を遡って調べてみました。ご先祖様の一部の人が、まだ「たて穴式住居で暮らしていた弥生時代」になって、やっと農耕をやり始めたり、金属器も使いだしたらしい？これは、大陸文化の影響を受けたもので、それまでの海や野原で漁労や狩猟採集から少し進歩しました。これの前期（約1万年位）を縄文時代と言い、前出の採集が中心で生活は進展せず、時間だけが流れ去った!!

また、その時代にアジアでは強大な「統治国家の中国の魏」が生まれていました。そこへ我が国（邪馬台国）の卑弥呼という女王様が、3世紀半ば頃に使者を派遣しました（239年）。このことは、魏の歴史書に「魏志倭人伝」として記録されています。

このようなとても長い時間の経過を考えると、自分の能力の限界を超えてしまっているのは、

います。

そして、文明は前進したり、留まったりして、どこかへ時の旅をしているのか？こんな長い時代を考えるには、文字を読み書くことが原則だし、漢字に感謝しています。そして字体は何度も変えられたらしいが新旧の比較もしてあるので、後継者にも判るようです。

この自然界の動植物は、突然、「進化発展」したり「絶滅」したりしますが、それを知ることが簡単ではないので、目的をしつかり気持ちに留めないと途中でやめてしまいます。こればかりではなく長い人生の中で放り捨てたものがあり、これほど「もったいない」ことはありませんし、元に戻ることもないので、よく考えて行動することは必要だなあと思うております。

格言を糧に己と向きあう

吉田方校区 馬見塚長生会 加藤 雅巳

「人は一生のうちに会うべき人には早すぎず遅すぎず必ず出会います。良い人にも悪い人にも。」この言葉はあるお寺の住職が、掲示板に掲げた格言です。

一昔前のテレビCMで「狭い日本、そんなに急いで何処へ行く」とのフレーズで、せつ

かちな人々を揶揄するような作品がありました。人生を高速道路に例えれば、スタートからゴールまでそんなに急がなくても時には休憩を取り、「もっと時間をかけて景色でも楽しんで行く方が楽ですよ。」とでも言いたかったのではないのでしょうか。その事を思い返

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

親和会(東田校区)の心配事

東田校区 親和会 丸地 洸

しますと、なるほどそろそろ私もゴールが近づく歳なので、今こそ周りの景色を楽しみむべきであり、急がない人生を選択した方がよさそうだと考えるようになりました。しかし現実にはそう甘くはない。老人クラブ活動において順番とはいえ今年度からブロック代表になったのであります。幸いな事に他校区代表メンバーの皆さんに変更はなく心強い限りです。今後は先輩方のご指導を仰ぎつつブロック代表の仕事をこなして行こうと思います。

ただし私はリーダーというよりも、参謀タイプの自分が自分らしさを発揮できると自己分析しているのです。少々不安もあります。受けたからには、人も御役も一期一会と心得て頑張ります。

投稿の最後にみなさんにも紹介したい格言があります。「今できることについていつかできなくなるんです。できなくなる日は突然訪れます。今できていることを大切にして下さいね。」(専念寺/ネコ坊主)

年度の総会が終わり、またぞろ溜息です。会員数が減り、「困った」の連続です。これまでいろいろな所で増強策の話をだしてききました。会員の連れ添い・カラオケ・スポーツ仲間等声掛けしてきましたが、減る一方です。このため今年も昨年同様に、総会のイベントとしてみんなで歌唱の時間をつくりました。同級生の歌の先生を呼んで、唱歌・ふるさとの懐かしの歌など、声を張り上げ楽しく唱いました。これで大成功の総会に変わりました。最後にたくさんのお土産をつけました。

また、どこの会も同じだと思いますが、親睦会の根っこは女性の方々の繋がりと地力だと思っています。女性部長のお陰で何とか会員の高齢化や病死の方々の減少も防いでできました。

私達の親和会は、現在二ヶ町の会員で成り立っています。大昔は三町内でしたのでこれから隣の自治会長に呼びかけを考えていきたいと思っています。

また、趣味の教室も減ってきており、積極的に活動している仁連木寿会の皆さんに力を借りて良い知恵をいただこうと考えています。

今ちょうど、ゆたかクラブ豊橋の女性部のすすめ方も話に出ており、大きな課題となっています。これからも人の集まる自治会・小学校・市民館などとタイアップし地域が元氣よくなつてもらいたいとの気持ちです。

今も当校区は東田小と協調的であり、1年生児童とお年寄りがいっしょに昔の遊びなど楽しく盛り上げていることは何よりです。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

戦後 80 年に思う

植田校区 ひさご会 小林 瑞波

1939年フィリピン群島ミンダナオ島ダバオ市内で私は生まれました。1945年8月15日終戦、この年の4月に父が日本軍隊に現地召集されたので母と子供5人で近所の日本人と共に戦火を逃れて山中の谷間で避難生活をしていました。

避難してから暫くして1つ下の妹が病死した。母が妹の遺体を南京袋に入れ背負って自宅近くに葬りに行くのを見送ったことが忘れられない。谷の道を時々日本兵が汚れた軍服で疲れた足を引きずって通り過ぎて行った。

終戦が知らされ、アメリカ軍の収容所に行くことになり私達はトラックの荷台に乗せられて収容所に向かった。途中私たちの乗ったトラックに向かって原住民達が石を投げてきた。惨めだった。

母の記録によると、1945年10月24日にフィリピンの港からアメリカの船で日本へと向かった。船は大きな貨物船のようだった。船底に何百人もの人がうごめいて寝起きをしていた。死者が出ると海葬として大海原に落とされるのを見た。

1945年11月5日に日本に着くとアメリカ軍から毛布が配布され鹿児島港に上陸した。

姉が弟を私が妹を背負って母が荷物を背負い、父の生家のある四国香川県に向かった。汽車は満員で身動きもできず立っていた。途中で弟がひきつけをおこすと軍服を着た人が助けてくれて四国まで付き添ってくれたと母は言っていた。善い人に出会えてよかった。父の生家で暫く静養させてもらい、明くる年の1月に母の実家のある現在の田原市内に帰って来た。実家の離れに住まわせてもらい、母は毎日4キロ程歩いて市内の戦争未亡人たちの働く会社へ通い私達を食べさせ、学校に通わせてくれた。

それでも満足に食べられず庭に干してあった芋切干をそつと一つ手にして食べた。周りから「引揚者、引揚者」と言われても母は負けじと必死で働いて私たちを育ててくれた。それから40年後1988年「フィリピン戦没者慰霊団」に参加し、亡き父と妹の墓参に家族で現地へ行ってきた。

高度成長で発展していく時代に生き、80年前の敗戦によって、豊かで楽しかった生活のすべてを奪われ、苦労したことのみが思い出された。



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

豊かな自然、伝統ある歴史のなかに

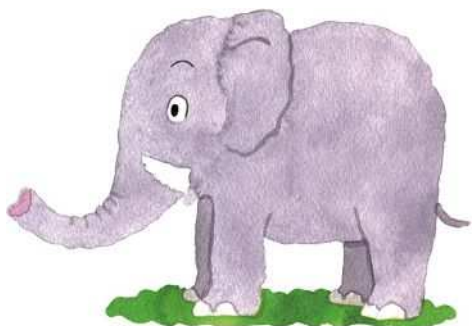
嵩山校区 北ふれあいクラブ 杉浦 一郎

ホタルの里である嵩山は昔、東海道のバイパスの姫街道の宿場として、賑わいを見せていました。

いろいろな人や物が姫街道を通っています。大行列以外にも姫街道沿いの人々をびっくりさせた通行があります。それは今から約300年前、嵩山を通った象です。この象が日本中をあつと驚かせたことはとても有名です。

中国の商人が献上した7歳の雄象を、八代將軍吉宗に合わせるため、長崎から江戸に向かう途中で浜名湖を渡る東海道を避け、吉田宿から嵩山に向かい姫街道を通り、本坂峠を越えました。

三ヶ日の先引佐峠を越える時に大変苦労したように、象鳴坂という地名が今でも残っています。象の通る道沿いの人たちは、道をきれいにしたり、水を入れた桶をほぼ100mごとに置いたり、さまざまな規



制が敷かれました。生きた象を見ようと道筋に人があふれたそうです。

象は長崎から江戸まで354里(1390km)を2カ月以上(74日)、かけて歩いていきます。1日平均19kmというスピードになります。

皆さんも、象が歩いた姫街道を散策してみませんか？

嵩山では、子供たちが年々少なくなり、高齢化社会・個人情報問題等が進む中、一人暮らし会員の安否・確認をどのようにするか連合会長、役員で話し合いました。結果、玄関に白旗を取り付け、毎朝上げ下げでの安否の確認をする案ができました。

もちろん、同意した対象者のみ旗を取り付け、近隣会員・役員が確認者として旗を下げに行き、白旗が上げてない人には玄関で声掛けをします。

「困っても困らんこっちゃ」※

※松「下幸之助 名言「道をひらく」シリーズ

「困難な状況に陥っても、それを乗り越え。解決の道を見つけ、最終的に困らないで済む」という意味。解決策を探すことの重要性。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

とにかく動くこと

牟呂・汐田校区 外神豊寿会 鈴木喜久男

健康寿命を延ばす一番の方法はとにかく動くことらしい。のんびりごろごろして、テレビを見ているのは良くないらしい。

私自身は、どちらかというと動き回るのは苦手で、歩き方もふらついて今にも倒れそうな感じだ。それでもいろいろ役をもらっている。で何とか動いている。

ヤングケアラーとかで子供の仕事が話題になることがあるが、うちの母に言わせると今の大人は子供に使わされているから、逆だ。子供を使わにやいかんと言う。母はほんとに子供をこき使った。

働かざる者食うべからず。遊ぶ暇もなかったし、遊びに連れて行ってももらったこともなかった。

家が貧しかったこともあるが、なまじ田んぼと畑があったので、子供も労働力として扱われた。一番嫌だったのは、夏休み後半の8月の終わりの稲刈りだった。今なら機械で刈るのだが、私の子供の頃は鎌で刈った。真夏の暑い日差しの中、倒れそうだった。もちろん昼寝の時間があったが、快い風の中の幸せは一瞬で、果てしのない稲刈りの重労働の思い出しかない。

今にして思えばこの経験がその後の厳しい社会で生き抜く力になったし、働くことの喜びを見いだせた気がする。高齢者になっても仕事をしている人は、元氣だ。特に農業に従事している人は90歳を過ぎても動いている。

つれづれに

天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会 西川 誠

戦後80年、三河地震から80年。犠牲者は2000人を超えた。今年は節目の年である。

年明、テレビから夜中に緊急地震速報が鳴り響く、思わず身構えた。震源地は日向灘と、昨年に続き2度目の情報だ。南海トラフ地震だ。心が休まらない。

1月の能登半島地震から1年、同日は阪神大震災から30年、東日本大震災から14年が経つ。

日本列島はどうしてこうも揺れるのだろうか。先の震災に思いを馳せた。

令和6年の能登地震、9月の豪雨災害、これもかと言わんばかりの被害が。国は能登を見捨てたかと、テレビに映る人々の声、新聞の一文が胸を打つ。

そちらは寒くない？寂しいね、大切な家族、友人を亡くした人、そこに戻らぬあなたが、当時に話しかけるように思いを語っている。

私も若かったら、何ができたかと、若き日に38豪雪には支援に行った時を思い返す。

妻と共に旅行した輪島での朝市、あのおばあちゃん、人なつこい顔、元氣でいるか。

大地震から1年、復興は進みつつ

あるがいまだ当時の痕跡が残る。

地域再生を願う人々の姿と、午後4時10分に合わせ犠牲者に鎮魂の思いを捧げる住民の姿が。

笑顔はいつ戻る。令和6年12月28日に国道249号線が開通した。やっとながったと、地元の声、遅い。

多くの面で前進はしたが、繰り返し災害に対する備えは十分とは言えない。様々な状況を踏まえての災害に強い新たな社会を想定しての「備え」は大事であろう。

災害に強い社会は次の私達に託されている。最後にもう1年が過ぎたと、能登の人々の気概だろうか！巷ではそろそろ自分達のこととは自分達でと、頼もしい声も聞かれる。

「頑張れ！」冬は必ず春になる、明けない夜はない。

東海の地から祈っています。



会員文芸

俳句

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会
数椿落ちて色成す新章へ

西川 誠

◆岩田校区 東岩田長寿会
ハンカチで溢れた涙だけのこと

千賀 芳彦

◆岩田校区 北岩田二区老人クラブふたば会
雑踏の中青空高く鯉のぼり

小椋かつ子

◆吉田方校区 若波会
名月や来世を語る老夫婦

河合 昭子

◆津田校区 西日進会
春の香と自転車も載せて渡し舟

笹野 壽

◆大清水校区 第二きさらぎ会
星祭り厄除け願いて豆まきす

花井 博行



短歌

◆大清水校区 第一豊松会
スマホ無く春景色見る電車窓

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会
草笛を笛鳴きにのせ比べおり

藤村 元司

◆福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会
蝉しぐれ強き日差しと競い合い

鈴木 京子

◆吉田方校区 若波会
送り来し新茶を入れる九十路
楽しい思出つきることなく

河合 昭子

花曇り上着をまといってお花見の
七才ピース「今朝歯が抜けたよ」と
岩田知津子

生かされて九拾年余を座しをれど
庭の中の針山を踏む

丸山二三四

雷に家は驚き揺れたよう
新幹線は大丈夫かな

横山 宜世

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

◆吉田方校区 菰口町寿会
子供らのプレゼントなる伊豆旅行
金婚式のお湯は温か

杉浦尊香子

◆中野校区 中野おあしす会
頻尿も花粉鼻炎も八千の
散歩で治す数えの八十路

彦坂 吉尚

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
4歳のヒ孫に好きとついホロリ
菓子を買いすぎママに叱られ

小椋かつ子

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会
酔わば行く「泉」の明かりはあの辺り
ゴルフ仲間が一人二人と

西川 誠

◆福岡校区 橋良老人クラブ東みどり会
テラスからながめる若葉目に生える
みおろす景色山なみのよう

高井 宏昌

◆津田校区 西日進会
留守宅に友がたずねて来たらしい
庭の菊を褒めた張り紙

笹野 壽

◆大清水校区 第一豊松会
老いたれば仲良く付き合つて
病院楽しおしゃれして行く

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会
ここのいね歌に踊りにおしゃべりに
サロンに集う善男善女

藤村 元司

◆幸校区 牧野町長寿会
目もかげり遠くきこえる友の声
背で聞くは婦の雷まつりの太鼓

宮田 建夫

◆津田校区 進誠会
水満るいまだ間のある畔に立ち
ジャンボタニシを拾う夕ぐれ

田中 英代



私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

川柳

◆中野校区 中野おあしす会
もう少しこの世に粘る医者通い

彦坂 吉尚

◆中野校区 中野おあしす会
エサ前にじっと我慢のヨダレ犬

彦坂くみ子

◆吉田方校区 若波会
丹精の大根ひく手胸おどる

河合 昭子

◆岩田校区 北岩田一区老人クラブふたば会
老二人そつと手つなぐ夫婦日和

小椋かつ子

◆岩田校区 東岩田長寿会
白猫が黒犬睨らみ塀の上

千賀 芳彦

◆天伯校区 天伯シニアクラブ和みの会
夢に出るトランプ関税かの大戦

西川 誠

◆大清水校区 第二ききりぎ会
この町も移動販売老いの町

花井 博行

◆大清水校区 第一豊松会

へそくりに金貨ないかと妻に問う

石川 重幸

◆大清水校区 第一豊松会

杖でないストックついて歩きます

彦坂 昌代

◆大清水校区 第一豊松会

ローカル線夢を捜しの八十路旅

鈴木 正子

◆大清水校区 第二豊松会

玉の輿あの一と言で夢と消え

藤村 元司

◆大清水校区 柳風会

横文字についていけないジジとババ

平山 憲子

◆大清水校区 柳風会

日本中外人さんであふれそう

近藤 庸子

◆福岡校区 小池元町虹の会

米寿過ぎ健康寿命目指し生き

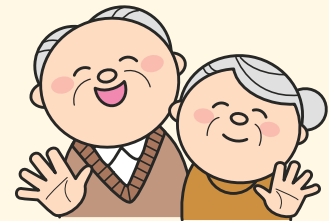
中野芙美子

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

第62回 豊橋市高齢者福祉大会

ダイヤモンド婚（結婚60周年）・金婚（結婚50周年）を迎えるご夫婦をお祝いいたします。

- 開催日時 11月27日(木) 午前9時30分～
- 開催会場 豊橋市公会堂
- 開催内容 ダイヤモンド婚・金婚を迎えられたご夫婦への祝詞贈呈、アトラクションなど
- 申込期限 8月1日(金)～9月11日(木)



編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をいただき、ありがとうございました。広報文化部では、皆様方のご意見・ご投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋 広報文化部

原稿募集

●校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。

●原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつお願いします。

●原稿は、市内在住の市老連に加入している方に募集しています。必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

●紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

●締め切り／11月14日(金)

●投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局
(豊橋市今橋町1番地・
豊橋市役所長寿介護課内)

●ご協賛各位への御礼●

本紙発行にあたりまして、ご協力いただきましたスポンサー各位に厚く御礼を申し上げます。「吉田春秋」は会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行しています。今後とも倍旧のご厚誼・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

私たちはゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています